

一般社団法人日本小児血液・がん学会
第86回理事会議事録

日 時:2025 年3月10日(月) 15:00~17:00

開 催:zoom によるオンライン開催

出席者:米田 光宏、加藤 元博、盛武 浩、家原 知子、大植 孝治、木下 義晶、
富澤 大輔、真部 淳、山崎 文之、義岡 孝子、余谷 暢之、上原 秀一郎、
大平 美紀、後藤 裕明、櫻井 英幸、滝田 順子、竹之内 直子、野上 恵嗣(以上理事)
多賀 崇、滝 智彦(以上監事)
足立 壯一(第 66 回学術集会長)
田尻 達郎(第 67 回学術集会長)
松本 公一(第 68 回学術集会長)

冒頭に、本日の理事出席者数は理事18名中15名であり、定款施行細則第8条第3項に定める成立定足数を充たしているため、本理事会は成立することを確認し、理事長 米田光宏は議長となり、審議に入った。

I. 前回議事録(案)の確認

議長より、前回理事会議事録(案)、学術集会時総会の議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

II. 審議事項

1. 入会申請者の件

庶務・財務委員会の上原担当理事より、現在の会員数の報告とともに入会申請者が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

2. 専門医更新猶予および資格喪失からの回復に関する専門医制度施行細則の改訂について

専門医制度委員会 富澤担当理事より、専門医機構のサブスペシャリティに関する申請書類が示され、異議なく承認された。

3. 医学部生向け講義用スライドの提供に関する契約について

教育・研修委員会の大植担当理事より、製薬企業より申し出のあったがんゲノム医療に関する医学部生向け講義用スライドの提供に関して資料に示された。スライドに企業名は表記されず、作成時には教育・研修委員会による審査を経て理事会承認を経たものを本会ホームページにて公開することが異議なく承認された。

4. ロイナーゼ供給停止の承認について

保険診療委員会の後藤担当理事より、製薬企業より相談のあったロイナーゼ供給停止について委員会での審議結果通り、供給停止を承認することが資料に示され、異議なく承認された。

5. 学会員へのアンケート実施依頼について

学術・調査委員会の木下担当理事より、本学会員宛に依頼された 2 件のアンケート依頼について、委員会での審議通り、「子どもの自殺」対策へ向けた政策提言のためのアンケート」の学会員へのアンケートについては対応を見送り、「オーサーシップ・二重投稿等に関するアンケート調査」については実施をすることが異議なく承認された。

6. 女性医師の学会賞や研究助成を得る機会を増やすことについて

女性医師活躍支援委員会の米田理事長より、本会が主催する各賞の応募要件について、現在の年齢設制限では女性医師には応募が難しいため、他学会の例なども参考に、女性の年齢制限を設けないことなどが提案され、来年の募集時期までに、学会賞等選考委員会・規約委員会などで応募要件を見直すことが異議なく承認された。

7. 小児血液・がん学会雑誌に、キャリア支援をテーマとしたリレーコラムの掲載について

女性医師活躍支援委員会の米田理事長より、本会ホームページに女性のキャリア支援をテーマとし

たりレーコラムを掲載することが提案され、実施に向けて、今後詳細を検討することとなった。

8. 評議員資格の見直しについて

将来計画委員会の米田理事長より、評議員の申請要件について、委員会で議論を行い、従来の要件を見直し、「5年以上の会員歴」「学会への貢献」「学術集会での発表 筆頭演者または座長を合計2回以上」などを盛り込むことが提案され、再度検討を重ねることとなった。

9. 女性医師支援について

将来計画委員会の米田理事長より女性医師への支援について、本会の女性医師の在籍状況などが報告され、今後、具体的な支援方法について検討を重ねていくことが報告された。

10. 若手会員のリクルートについて

米田理事長より、遺贈を受けた寄付金について積立とすることとなった。使用用途としては、学生および初期研修医を対象として、小児血液・がん学会学術集会にアワードセッションを設けることなどが提案され、今後さらに検討を重ねることとなった。

11. SIOP カントリーアンバサダー選定について

米田理事長より、SIOP から依頼のあったカントリーアンバサダー選定について、米田理事長と真部理事を推薦することが提案され、異議なく承認された。

12. 希少がんコミュニティー オープンデー2025 後援依頼

一般社団法人日本希少がん患者会ネットワークより依頼のあった「希少がんコミュニティー オープンデー2025」の名義後援の依頼について異議なく承認された。

13. 会員資格喪失対象者について

過年度会費未納のため会員資格を喪失となる会員の確認が行われ、3 月末までに会費が農集されない場合は除名処理とすることが異議なく承認された。

14. 学会支援機構との業務委託契約の更新について

学会支援機構との業務委託契約の更新について契約書が示され、協議された結果次年度も委託継続することが異議なく承認された。

15. 第 66 回学術集会優秀ポスターについて

学術集会プログラム委員会の家原担当理事より、委員会にて選出された第66回学術集会優秀ポスターについて示され、異議なく承認された。

Ⅲ. 報告事項

1. 庶務報告

庶務・財務委員会の上原担当理事より、本会の正会員、評議員、賛助会員等の会員状況について報告された。

2. 学術集会報告

1) 第67回日本小児血液・がん学会学術集会報告

第 67 回学術集会の田尻会長より、2025 年 11月19日(水)～21日(金)に開催予定の第 67 回学術集会の準備状況について報告された。

2) 第 68 回日本小児血液・がん学会学術集会報告

第 68 回学術集会松本会長より、本理事会後に運営事務局選定のためのコンペを開催することが報告された。

3. 委員会報告

1) 学術集会プログラム委員会

家原担当理事より、現在、第67回学術集会の上級演題、JSPHO2025 日韓シンポジウム、教育セッションなどについて検討中であることが報告された。

2)研究審査委員会

大平担当理事より、本会の疾患登録事業の実施計画書を含む2件の研究について委員会審議中であることが報告された。

3)教育・研修委員会

大植担当理事より、2025年7月6日に開催する教育セミナーの企業との共催について、契約が締結されたことが報告された。

4)国際委員会

真部担当理事より、現在日韓シンポジウムの日韓の演者の選出を行っていることが報告された。また、WHO Global Initiative for Childhood Cancer Project について、現在日本からカンファレンスに参加していることが報告され、今後は国際委員会の委員の増員も検討するとともに、国際委員会として正式に同カンファレンスの支援を行うこととし、委員が同カンファレンスのメーリングリストに加わるなどの活動を行う予定であることが報告された。

このほか、アジア小児血液・がん治療研究グループ(APHOG)や SIOP Asia と共同研究などの連携について、また、他団体との情報国間などを検討する予定であることが報告された。

5)将来計画委員会

米田理事長より、本理事会の審議事項に挙げられた「評議員資格の見直し」「女性医師支援について」の他、「若手会員のリクリート」に関する具体案について報告され、他2件と併せ、今後さらに検討を重ねることとなった。

6)長期フォローアップ・移行期医療委員

米田理事長より、長期フォローアップ・移行期医療委員より本会会員へ向けて実施した「小児・AYA世代がん患者の栄養管理に関する現状調査」の結果について資料に示され報告された。

IV.理事長報告

1)第7回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会 名義後援について

米田理事長より、一般社団法人 AYA がんの医療と支援のあり方研究会より依頼のあった「第7回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会」の名義後援について、例年同様に後援を承諾したことが報告された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印又は署名する。

令和7年3月10日

日本小児血液・がん学会 第86回理事会

理事長 米田 光宏

監事 多賀 崇

監事 滝 智彦